

協議体通信



地域で抱える困りごとの解決に向けて、自分たちのできることを話し合う場『協議体』。渋川市内9地区に協議体があります。今回は古巻地区と小野上地区を紹介します。

地域住民と子ども達がお互いに顔の見える関係を築き 安全・安心な地域を作っていくことを目的に 10月27日(日) 有馬地区でハロウィンイベントを開催しました。



さまざまな仮装に身を包んだ子ども達が、賑やかに地域を歩きまわり、高齢者宅などを訪問しました。「普段は足が悪く外出できないから、子ども達が来るのを楽しみにしていた。」という声や、参加した子ども達からは、「通学路にある家でもどんな人が住んでいるのか知らなかった。今度から会ったらあいさつをしようと思った。」などの声が聞かれました。

今回のハロウィンイベントでは有馬地区の子ども会育成会との共催により有馬地区限定でしたが、来年は古巻地区全体で開催しようという気運が高まっています。これからも古巻地区協議体では様々な組織と連携しながら「顔の見える地域づくり」を進めていきます！



おのがみ助け合いの会「つくしんぼ」



おのがみ助け合いの会「つくしんぼ」は、地域の困りごとを少しでも解決するため平成29年に小野上地区の有志により発足しました。これまでに地域の困りごととして挙がった声を反映し、「通院送迎サービス」「買い物付添支援」「けーる便」「粗大ゴミ搬出支援」の活動を実施しています。

令和4年2月には小野上地区の全世帯に「困りごとについてのアンケート調査」を実施し、新たに「つくしんぼサロン」を立上げ、月1回第3木曜日の午前中に、脳トレ、健康体操、折り紙など皆さんの趣味を生かした活動を楽しく実施しています。

今後も地域の皆さんの意見を取入れ楽しく活動をしていきます。

